

# Lesson 3 言語コミュニケーション

## Work 5 聴き方トレーニング

言葉を使ったコミュニケーションについて考えていきましょう。言葉を使ったコミュニケーションでは、受け手の聴き方が、話し手の話に大きな影響を及ぼします。コミュニケーションに責任を負うのは、決して話し手だけではなく、話し手と聴き手の双方なのです。

- ① 3人組になり、1回目の話し手 聴き手 観察者を決めます。
- ② 話し手と聴き手は、90°の角度になるように座ります。観察者は二人が見えるところに座ります。
- ③ 話し手は、昨日の目覚めてから寝るまでのことを、できるだけ詳しく話します。ただし、話したくないことは、カットします。
- ④ 聴き手は、次の指示に従って聴きます。
- ⑤ 観察者は、二人のやりとりを観察します。
- ⑥ 各ラウンドが終わるたびに、「コミュニケーション チェックシート」に記入します。

第1 R (30秒)	
黙って、うなづいたりもせず、一生懸命にひたすら聴く。	

第2 R (1分)	
首を縦に振ってうなづいたり、「ふんふん」「へえ」「そう」「それから」などの短いあいづちを打ちながら聴きます。	

第3R (1分30秒)

うなずき、あいづちに加えて、  
話のポイントだと思う所を、話し手の言葉の  
通りに繰り返したり、自分なりに言い換えたり  
しながら聴きます。

教室に入ると  
同時にベルが  
鳴りました

そう。うまく  
間に合ったん  
ですね



第4R (2分)

うなずき、あいづち、繰り返し、言い換えに  
加えて、  
話を聴きながら、適当な所で質問をします。  
(話し手は、できるだけ答えます。ただし、  
答えたくないことは、「答えたくありません」と言います)

1時間目は国  
語表現の授業  
です

1時間目の授  
業は何だった  
んですか



⑦全員が、話し手 聴き手 観察者を体験します。

⑧体験したことを話し合います。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---